

日時：2009年7月6日（月）11:20-12:00

場所：九段会館（東京）4階「桐の間」

出席者：34名、委任状提出：42名      合計：76名

## 1. 総会の成立

総会にさきだち、林庶務幹事より、出席者、委任状提出数の説明があり、総会の成立要件が満たされている旨、宣言された。

## 2. 議長の選出

議長として西田信彦氏が推薦され、承認された。

## 3. 会長挨拶

福永会長より、挨拶があった。懇談会の発足から1年半経過し、利用者の増大が期待されることから、活動の活発化を図ることについて説明があった。具体的には、9つの分科会の立ち上げ、メーリングリストを通じた会員への情報配信、要望書のとりまとめ、についての説明があった。

## 4. 連絡幹事の紹介

林幹事より、連絡幹事の新設について説明があった。施設とユーザーの関係をよりスムーズにするため、現在の8名の幹事に加え、新たに連絡幹事職を設けることとした。新連絡幹事として、鈴木淳市氏と大友季哉氏の就任が報告され、両氏が紹介された。

## 5. 平成20年度活動報告

林幹事より、平成20年度の以下の活動報告と説明があった。

### ○ 9分科会の立ち上げ

平成20年度には9分科会の立ち上げをおこなった。とくに、ミュオンと中性子との一体化を重視した分科会であるとの説明があった。その後、各分科会の目的と代表、世話人の紹介、具体的活動内容についての説明があり、この分科会が今後の要望書取りまとめの基本になるとの説明があった。

また、活動を合理的に行うため、中性子産業利用推進協議会、茨城県中性子利用促進研究会と連携し、合同で実施できるものについては、できるだけ合同で実施すること

とし、すでにいくつかの分科会では合同で活動しているとの報告があった。

#### ○ 分科会研究会活動

平成 20 年度には研究会が 2 回開催されたことが報告された。

#### ○ 情報発信

懇談会は会員メーリングリストを通じた情報配信を重視しており、平成 20 年度には 50 件の情報配信が行われたことが報告された。

### 6. 平成 21 年度活動計画

林幹事より、平成 21 年度の活動計画について以下の報告と説明があった。

- 平成 21 年度には中性子 8 台とミュオン 1 台の装置が稼働する。またユーザズオフィスも整備され、サポート体制も充実してきたことから、さらなるユーザーの拡大が予想される。そこで、各分科会において、よりよい実験テーマ、グルーピングについての議論を深めて行く。
- 7 月 7 日にソフトマター・反応分科会の研究会が予定されており、約 70 名が参加予定である。
- 幹事会を中心に要望書を作成し、6 月 30 日に永宮 J-PARC センター長に提出した。その内容について説明があったうえで、平成 21 年度はできるだけ会員の意見を集約し、要望書を作成する予定である旨の説明があった。

### 7. 平成 20 年決算と平成 21 年度予算案

林幹事より、平成 20 年度決算報告と平成 21 年度予算案の説明があった。

平成 20 年度の会員動向説明があり、協賛会員 2 社が一般会員に移行した旨の報告があった。

平成 20 年度決算として 486,255 円が平成 21 年度へ繰越しとする旨の説明があった。

平成 21 年度の予算案として、平成 20 年度からの繰越金を有効に利用し、分科会活動費を 1 分科会あたり 6 万円とする旨の説明があった。ただしこれは平成 21 年度の限定処置である。

### 8. 会則の改定についての説明

林幹事より、会則の改定についての事情説明と、改訂案の説明があった。現在の会則

では会員の退会には幹事会の承認が必要だが、これは現実にあわないため、会長への報告のみで退会が可能になるように修正したいとの提案があった。

今回は事情説明のみで、来年度総会での改訂を予定している旨の説明があった。

## 9. 質疑応答

1) 川合氏より、「懇談会以外で行われている研究会などの情報を会員に配信したらどうか」と提案があった。

これに対し林幹事から、「是非そのような情報は配信していきたいので、情報提供をお願いしたい」との回答があった。

2) 決算の扱いについて議論があり、林幹事より、「現在は会計幹事は設置されておらず、総会での承認事項としているが、今後もその形式でよいか、会員のご意見をうかがいたい」と説明があった。会場からは特に意見はなかった。

3) 新井氏より「平成 21 年度は繰越し金があり、やや余裕があるが、今後は財政的に不安がある。施設への協力要請は議論しているのか」と質問があった。

これに対し林幹事より「会費による年間 50 万円の予算規模でやっていくしかない。しかし、活動の支援については永宮 J-PARC センター長と議論しており、懇談会の活動活発化には施設のサポートが必須であることを要望している。具体的には会場の無料提供などの協力を期待している」との回答があった。

## 10. 活動報告と活動計画に対する承認

平成 20 年度決算と平成 21 年度活動計画について承認された。